

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1958
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.51, No.10 (1958. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19581001--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田學會雜誌

慶應義塾経済学会

十月号

論 說	
本多利明の農政論(統).....	島崎隆夫(一)
— その経済政策の性格 —	
成長理論と分配.....	大熊一郎(七)
— カルドア・モデルに関する若干の論評 —	
産業国有化政策の意義とその限界.....	丸尾直美(七)
— 英国労働党の直面した問題を中心として —	
資 料	
社会主義的所有の二つの形態と価値法則.....	平野 絢子(四)
— 顧準の所説について —	
ケネーの経済表とマルクスに就て.....	渡 邊 建(五)
— 越村信三郎教授の『ケネー経済表研究』を中心として —	
書評及び紹介	
経済学関係文献目録	

第五十一卷

第十号

昭和三十三年十月二十四日
昭和三十三年十月二十三日
昭和三十三年十月二十三日
昭和三十三年十月二十三日
発行(毎月第一日発行)
第三種郵便物認可
国鉄特別扱承認
第三種郵便物認可

昭和三十三年九月二十四日
昭和三十三年九月二十三日
昭和三十三年九月二十三日
昭和三十三年九月二十三日
発行(毎月第一日発行)
第三種郵便物認可
国鉄特別扱承認
第三種郵便物認可

三田学会雑誌

昭和三十三年九月号

定価 金九〇円 (送料別)

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 51, No. 9

September, 1958

CONTENTS

	Page
Die Entstehung der Stadt Lübeck.....	S. Takamura (1)
The Change of British Capitalism and the Transformation of the Trade Union Movement in the Latter Period of the 19th Century.	
The Labour Movement and the Second Reform Bill.....	K. Iida (11)
Thomas Hodgskin's Thought of Natural Law and Economics in his "Labour Defended"	A. Shirai (31) H. Noji
New Graphical Solution of Goodwin's Nonlinear Business Cycle Model	K. Mori (49)
The Theory of International Capital Movements.....	E. Ōmiya (69)
Reviews and Notes	

Published for
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI
 (The Keio Economic Society)
 Editorial communications to be sent to
 the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,
 Keio-Gijuku University,
 Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.
 Price 90 yen

書評及び紹介

- ドナ・トーア著『トム・マンとその時代』……………飯田 鼎(七六)
岡部 寛之著『保険学新講』……………庭田 範 秋(八一)
武山 泰雄著『アメリカ資本主義の構造——寡占経済とその社会意識——』……………原 豊(八六)

本多利明の農政論(続)

——その経済政策の性格——

島崎 隆 夫

「三田学会雑誌」第五一巻第五号(昭和三三年五月号)掲載の「本多利明の農政論——その前提——」において、わたくしは利明が特異な経世策を樹立するに至ったその過程を、利明の全思想体系の根底を構成したところの諸前提を考究することによって、出来るだけ明白にしよとつとめた。その場合、利明の思想体系——経世策の根底には、国内における武士及び農民の悲惨なる困窮の深化が顕在しており、それに対する認識と政策とがあったこと、さらに国外における諸外国の来寇による国際的危機が起りつつあったことの認識が存在していたのである。とくに、国内経済問題としての農業——農民問題が、封建社会体制を維持し、封建的支配者の安泰を切望するために、最も深刻にして、重要であり、すべての政治の根底にあった。かかる意味で、利明の経世策——全思想体系の根底に「農政論」が置かれていたと考えるのである。前掲論文においては、まず今日に至

本多利明の農政論

るまでの利明研究文献の整理を行い、つづいて利明の伝記——思想形成の過程を考察することによって、利明が蘭学の影響のもとに、いかに合理的・数的・科学的な精神と学問的態度を懐くに至ったか、これらの合理的な科学的精神に基き何ものにもさまたげられず現実を如何に鋭く認識するに至ったかをみた。利明はその時代の農業生産——農民生活の事情を客観的に観察した結果、農業事情に地域別差異が存在することを看破し、それによれば、関東及び関東以北の地帯と、上方、中国、四国の関西地帯とは、社会経済的現況においていちじるしい相違がみられ、さらに両地域の相違を生み出すに至った原因は、それは単に自然的諸条件の相違にのみとつくものではなく、それぞれのおかれていた社会的経済的諸事情、すなわち農業生産の在り方と生産力の高下、農民の余剰に対する収奪の機構の相違、商業及び交通機関の整備による、国産の集配の事情の相違、大河川による洪水の有無、等々の諸事情にもとめられていたのである。勿論当時の農村に対するかかる認識は今日よりすれば甚だ不